

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	04_宮城県
市区町村名	04501涌谷町

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
04501涌谷町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	少子化による小学校の統廃合がなされたことにより、町内の小学校3校中1校の児童の大半がスクールバス通学となった結果、放課後の多様な体験活動を他の学校と同様に実施することが難しくなり、町内の小学校間で体験格差が生じてしまった。	令和7年度においては、他の小学校と同様に、放課後の体験活動を年10回実施する。	令和6年度に、他の小学校と同程度の時間で体験活動を年2回行ったところ、参加率も高く、参加児童の保護者からはもっとやってほしいとの要望をいただいた。家族の送迎が不可欠なため、問題が解消された訳ではないが、開催日を参観日に合わせるなど工夫しながら取り組みたいと考える。	体験格差をなくすよう、町内小学校での活動回数を同数とする	放課後子ども教室の実施回数	2	回	10	10	05 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した。 体験格差解消のため、全小学校で放課後子ども教室を年10回以上実施できたことにより、何事にチャレンジする心が育まれ、活動を心待ちにしてもらえるようになりました。	https://www.town.wakuya.miyagi.jp/kurashi/kyoiku/documents/045012_R7jisseki.pdf
04501涌谷町	③学校と家庭の課題	05 その他	個々の経験値や知識は豊富なものの、家庭教育支援チームとしての活動場が限定されている。	幼稚園や保育所、社会教育施設で、幼児や児童への読み聞かせや折り紙製作などを行いながら、保護者と接する機会を増やし、チーム員と保護者が寄り添える場を増やす。	さまざまな研修会に参加し、県内市町村の取組を学び、チームの独自の活動内容を模索する。	独自の活動を増やし、保護者に寄り添う機会を増やす。	活動回数	1	回	3	1	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。 家庭教育支援チームの活動の場が限定されていたことから、場の開拓を模索するも、意見がまとまらなかったことと、スタッフの調整が難しかったことから、改善にはいたらなかった。次年度は、よい幼児や保護者と近い距離で寄り添える場の創出を目指す。	https://www.town.wakuya.miyagi.jp/kurashi/kyoiku/documents/045012_R7jisseki.pdf